

さくら並木

～新型コロナによるつながりの分断と 人を孤独にさせない社会的包摂の推進～

大河原町長 齋 清志

新型コロナウィルス（以下コロナ）感染症に係る対策事業として、先月号にその第1弾の対応を紹介させていただきました。10万円の『特別定額給付金』については、全町民の96%を超えて振込を完了（6月18日現在）し、未申請世帯へのアシスト業務を丁寧に行いながら100%給付を目指しているところです。

今回は、第2弾の町独自の緊急経済・生活支援策について報告させていただきます。

①福祉施設（高齢者・障がい者施設）への10万円の支援金給付

②公共施設安全・安心確保事業として、学校・保育所等にA1サーモグラフィを導入

③学校給食費無償事業として、一期相当期間の給食費を無償（事業費3千万円）

④水道基本料金免除事業として、全世帯の上水道基本料金の7・8月請求分を免除（事業費4千5百万円）

⑤Let's Eat! おおがわら事業としてテイクアウトを活用した飲食店の応援等

また、第1弾で案内した感染症拡大影響中小企業者支援給付金（10万円）の対象要件を緩和しました。令

和2年3月～6月までの間で、いずれかの月の事業収入が前年同月比で15%以上の減少となった場合としていきます。そして、今国会で可決された第2次補正予算の地方創生臨時交付金を活用し、これから実施する第3弾の経済・生活支援対策につなげてまいりる所存です。町独自の想定事業としては、最高規模となるものを考えています。議会の協力を得ながら、迅速な対応と期待に応える取り組みとなるよう努めてまいります。

さて、コロナとの歴史的な戦いに直面するなかで、この難局を乗り越えるための必須条件の一つは、治療薬とワクチンの早期開発です。そして、徹底した感染防止の意識とともに第2・3波への備えとして、医療提供と検査体制の強化が重要です。加えて、これらと平衡して進める経済・雇用と生活に対する継続的な支援であることは誰もが理解するところでしょう。

一方で、これまでのコロナへの様々な対応が実施されるなかで、『ウィズコロナ』や『ポストコロナ』といった社会不安解消につながる心持ちの議論が活発になっていきます。新しい生活様式の定着とともに、『対コロナ』によって鮮明に写

しだされた現代社会の抱える課題があると思えてなりません。コロナによって生じた様々なつながりの分断が、日々の生活や不安感に覆われた心の回復の律速段階になりかねないことが気掛かりです。今こそ、この大切な気付きと助け合いの精神に目を向けていく必要があるものと受け止めています。

社会的に孤立している人々に対し、一人ひとりの存在を認めあいつながりを持ち続ける社会的包摂の推進が求められているのではないのでしょうか。本町の掲げる、『認めあい、支えあい、活かしあう』まちづくりの理念が、全ての町民の皆様との共通の思いとなることを願って止まないこの頃です。

（6月19日記）





学び舎通信

学校再開と新しい生活様式

金ヶ瀬中学校

6月1日から学校が再開され、少しずつ日常を取り戻していています。子どもたちの声が聞かれるようになり、学び舎にやっと命が吹き込まれた感じでした。大きな予定変更が続く中であって、およそ3か月ぶりの学校生活は、以前と違う変わらない穏やかなものとなっています。

三密を避けた学校生活は以前とは勝手が違ってきます。登校時のマスク着用及び検温の確認、アルコールによる手指消毒に始まり、密を避けるための机の配置、定期的な給水時間の確保、給食配膳・清掃方法の変更、教室等の消毒など様々な対策を施しています。生徒会でも感染予防を意識して計画を練り直し、新入生との対面

活動見学会や各教室での専門委員会紹介等で補いました。また、生徒会総会も各教室を結び、初のオンライン方式で実施します。学校としてできる感染症予防策を継続しつつ、より充実した学校生活を模索していきたいと考えています。



暗唱大好き

「たくさん覚えたよ」暗唱読本の活用」

大原小学校

昨年度の2月に行われた授業参観では、2年生の各学級で生活科「できたよ発表会」を行いました。子どもたちが小学校に入学してからの2年間を振り返り、自分ができるようになったことを仲間やお家の方に伝え合いました。

この発表会では、子供たちの成長を感じ取ることができた取組として、暗唱があります。子供たちは、「2年生で楽しかった暗唱を2年生でも続けてたくさん作品を覚えましたよ」「1年生のときよりも、2年生になって、すらすら暗唱できるよになりました」などの感想とともに、自分が覚えた作品を発表するなど、日頃から暗唱読本「寿限無」を手に持ち、読んでいること

が伝わってきました。今年度は、臨時休業のために家庭学習の課題として取り組まれています。学校再開後からも、子どもたちが作品を読むことを通して、言葉の使い方や読み方を知り、声に出して表現する力を育てていきたいと考えています。



えずこホール イベント案内

みんなをいっしょに
えずっこひろば
～親子で楽しむ遊びの場所～



おもちゃいっぱい遊びのコーナーや、音楽、紙芝居、手遊びなどが楽しめるイベントを毎月開催！カフェスペースでは、おいしいお茶をママ友と♪えずこ託児ボランティアによる、おとなも子どもものんびりできるくつろぎ空間です。いろんなおともだちを作ってみませんか？

7/8[水] 8/18[火]
10:00～12:00(全日)

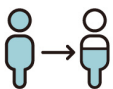
■参加費：無料
■会場：ホワイエ
(出入り自由)
(申し込みの必要はありません)



新型コロナウイルスの感染拡大防止のため練習室・会議室の貸し出しについて、下記、ご協力をお願いします



必ずマスクを着用して入館してください



各室の定員50%以下で利用してください



30分に1回以上数分程度、窓や扉を2方向開放し換気を行ってください



入室の際、楽器・機材を利用する場合にも、手指消毒をお願いします。

※詳しくはホームページをご確認ください

えずこホール
仙南芸術文化センター

お問い合わせ TEL 0224-52-3004
〒989-1267 柴田郡大原町字小島1-1
URL : <http://www.ezuko.com/>
info@ezuko.com